

自由民主党 いわて県連だより

号外
2021年5月
発行責任者：
自由民主党
岩手県支部連合会



岩手県第1区
高橋ひな子
衆議院議員3期
(東北ブロック比例)

盛岡市議会に議席を得て26年、岩手県議を経て、二度目の挑戦で国会にお送りいただき9年目、環境大臣政務官、文部科学副大臣と、皆様の温かいご支援で政治家としてお育て頂きました。心から感謝申し上げます。

未来の子供たちに、より良い社会を受け継いでいく、それが政治家を志した原点です。批判ではなく、課題を乗り越え夢を形にする政治が必要との信念で、立ちはだかる困難もお力添えを下さる皆様のおかげで乗り越えてまいりました。

様々な課題に直面したとき、その根っことなっているものはなんなのか、現場の声、小さな声に寄り添い、それをしっかりと国政に届けることを常に心がけてまいりました。新型コロナの問題は他国に比べ、自分で豊かで民主的だと思われてきました。日本社会に大きな課題を突き付けています。大切な国民の命と生活を守り抜き、安心で安全な日常を取り戻すこと。震災から10年、様々な課題もあり、ILCを初め未来の夢を前に進めること等々。政権与党の一員として地元の皆様と力を合わせ、より確かな未来を築くため、感謝と初心を忘ることなく、お一人おひとりの思いを胸に、言葉に魂を込め、地方の声を国政へ伝えてまいります。元気な岩手をつくるため、より一層のご指導、ご助言を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

前回の衆議院総選挙から間もなく四年が経過しようとしています。この任期中、私は通算一年七ヶ月東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣を、その後一年間党総務会長を務めました。また、平成三十年には在職二十五年の永年勤続議員表彰を受けることが出来ました。これも偏に私を永きにわたり国政の場へ送り続けて下さり、幾多のご指導ご鞭撻を賜つた多くの県民皆様のお力添えによるものであり心より感謝申し上げます。

私はこれまでの経験と中央政界で培つた立場を活かし、これからも皆様のご期待に応えられますよう全力で働いて参る決意です。

今日、我々が直面している最大の課題は新型コロナウイルスとの闘いです。感染拡大を防ぐため切り札であるワクチン接種が一日も早く終了できるよう取り組みを強めて参ります。また、この間大きな打撃を受けている経済の立て直しも重きです。飲食業、観光業をはじめ影響を受けている産業に対する経済対策を切れ目なく実行いたします。

人類が直面する危機はこれだけではありません。気候変動による地球温暖化対策も待ったなしです。環境変化による自然災害の多発、水産資源の減少など影響は計り知れません。

私は党環境温暖化対策調査会長として「二〇五〇カーボンニュートラル」実現に向けて全力で取り組んで参ります。

前回の衆議院総選挙から間もなく四年が経過しました。皆様からのご支援のおかげで、この8年間、被災地の復興や地方創生、ILCなど、ふるさと岩手の振興のために働かせていただきました。

その様な中で、与えられた3期目の任期も残り半年を切りました。今衆議院議員として求められていることは、残された議員としての任期の中に接種が一日も早く終了できるよう取り組みを強めて参ります。特に、コロナワクチンの迅速な接種は、今後のコロナ対応の柱であり、市町村と国とのパイプ役として、さらに力を入れて取り組んでいきます。

また、国際情勢に目を転じると、米中関係を始め予断を許さない状況が世界各地において続いています。このような状況下、日本はその独自の立場を發揮し、極東情勢の安定化と国際的な役割を果たしていくことが求められており、私もその役目を果たしていきます。

その他にも、人口減少社会への対策やILC誘致、岩手全体の更なる発展など、取り組まなければならない課題は沢山あります。引き続き、自民党岩手県連会長として、その先頭に立つていきたいと考えております。



自民党岩手県連公式ラインアカウント
お友達登録お願いいたします！



岩手県第2区
鈴木俊一
衆議院議員9期



岩手県第3区
藤原崇
衆議院議員3期
(東北ブロック比例)



自民党岩手県連公式ラインアカウント
お友達登録お願いいたします！

